

医療法人社団若葉会

高重記念クリニック／富山県富山市

高重記念クリニックは、地域の方々の健康増進と健康寿命延伸のため、「医療」「予防医療」「子育て支援」「介護」の4つの事業を行っており、地域の「かかりつけ」として、社会に貢献し、患者様から信頼される医療機関になることを目指しています。

本事業ではさらなる地域貢献を目的とし、停電対応型CGSと停電対応型GHPを設置し、災害時にも空調を稼働できるシステムを導入し、富山市災害時等協力事業所として協力できる体制整備を行いました。



外観

補助事業の概要

導入設備：停電対応型CGS 5kW×1台、停電対応型GHP 56kW×2台

補助金額：9,889千円(補助率1/3)

災害時の設備用途：[発電] 1Fロビー、共用部(コンセント利用)

[温水] シャワー室で給湯利用

[空調] 1F・2F部分

対象施設	避難所面積	供給方式
避難所	597㎡	低圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

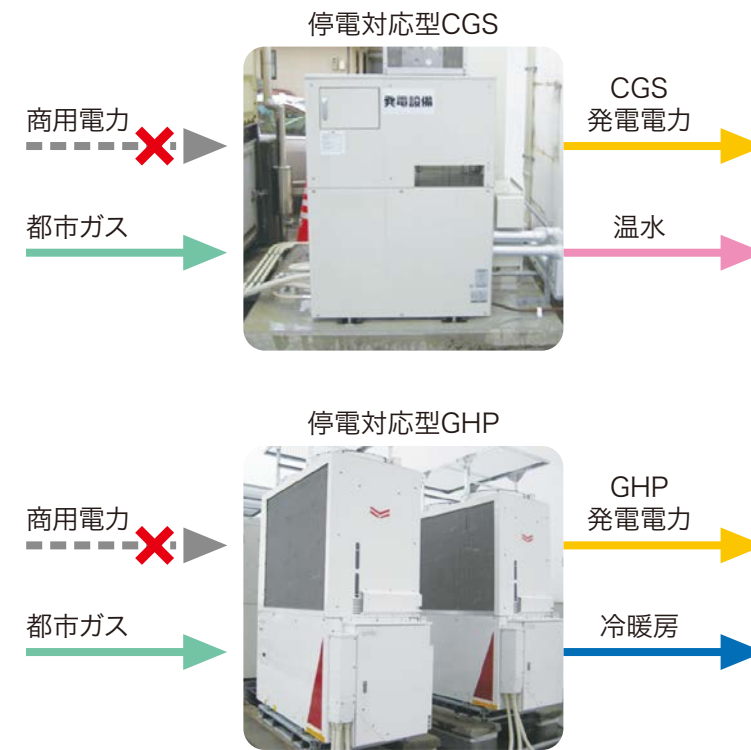
医療法人社団若葉会 高重記念クリニック 院長 高尾 昌明 様

築13年を過ぎたころより空調機の不具合が目立ちはじめ、空調機の更新を考えている中で、ガス会社から補助金を活用した提案を受けました。クリニックの受診者様や病児保育利用のお子様、リハビリの利用者様にご利用中の停電時や災害時に少しでも安心できるよう空調が稼働できるようになるのは大きなメリットと考えました。空調機の不具合を夏前までには更新したいということで、早急にスケジュールにあわせて準備をすることになりました。

今回、標準型の空調機に更新するのではなく、停電時に空調と照明が利用できる設備を導入することで、地域貢献ができるということを知り、今回の補助金制度を利用して停電対応型の設備を導入することを決定しました。近年自然災害のニュースが多く、当法人の運営施設のある地域でも床上浸水等がみられましたが、今後は災害時に地域の方々の避難所として協力できるものと考えています。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



避難スペース(一例)

1F 中央待合室



2F 応接室



など

災害時にも避難所等で活用可能な設備等



空調設備



コンセント



給湯

協定概要

富山市の「富山市災害時等協力事業所登録制度」に基づき、防災活動に無償協力する事業所として令和4年12月に避難所としての登録を行っています。災害時等において市等が行う防災活動には、この登録に基づき協力します。